

8月9日

今日、8月9日、長崎は75回目の「原爆の日」を迎えました。75年前、私たちの住むこの長崎で何が起きたのか。私たちは、その時まだ生まれてはいなかったけれど、そのことを知っています。そして、決して忘れてはならないし、被爆者の皆さんが高齢になられている今、多くの人々に伝えていかなければなりません。

さて、長与町は『「平和で安全な町」宣言』を行っています。

「平和で安全な町」宣言

—核兵器の廃絶を願って—

世界の恒久平和は、人類共通の願望である。

現在・未来を通じて、平和で安全な町づくりを念願する私たち長与町民は、平和で安全な郷土を築き、子孫に引き継ぐことが、今を生きる私たちに課せられた最大の責務である。

原爆によって、長崎市とともに凄惨な被害を被った長与町は、核兵器の脅威をなくし、世界平和と人類の恒久的な安全・生存を保持するため、非核三原則を守り、核兵器のすみやかな廃絶と、紛争と戦争のない世界の実現を強く望むものである。

よって、長与町民はこの理念達成のため、誇りと責任をもって、ここに「平和で安全な町」を宣言する。

1994年9月19日

長崎県西彼杵郡長与町

長与町民として、「平和で安全な町宣言」があることを知っておいてほしいと思います。

誰でも平和であってほしいという願いは共通しているはずです。その平和について考える日が8月6日（広島原爆の日）、8月9日（長崎原爆の日）、8月15日（終戦記念日）です。

75年前、長崎で何が起きたのか、「声なき声を聴き、姿なき姿を見る」想像力をもちたいものです。

お子さんと御覧になられては

長与町HPの平和事業のページには、長与町の平和の取組が紹介されています。

「長与町被爆体験談集」や「町内の被爆遺構の説明」などがあります。

HPアドレス : <https://webtown.nagayo.jp/gyoseijoho/heiwajigyou/index.html>

